

[戻る](#)

## 基本情報

時間割コード/Course Code	135087
開講区分(開講学期)/Semester	春～夏学期
曜日・時間/Day and Period	火 2
開講科目名/Course Name (Japanese)	【人文】人間学の話題
開講科目名(英)/Course Name	
ナンバリング/Course Numbering Code	13LASC1D305
単位数/Credits	2.0
年次/Student Year	1,2,3,4,5,6年
担当教員/Instructor	野尻 英一

## 基本項目

サブタイトル/Subtitle	哲学から見る心の世界
セミナー番号/Seminar Number	
履修対象/Eligibility	全学部
履修その他/Other	
開講時期/Schedule	春夏学期
セメスター/Semester	春～夏（1年次）
講義室/Room	

[授業担当教員一覧](#)

## 詳細情報

講義題目/Course Name	哲学から見る心の世界
開講言語/Language of the Course	日本語
授業形態/Type of Class	講義科目
授業の目的と概要/Course Objective	<p>この講義では、哲学的な人間学の視点を通して、人間の「心」の世界についての見方と考え方を学ぶ。担当教員は、人間科学部で哲学を教えている。人間科学部で教える哲学の特徴は、心理学、精神病理学、人類学、社会学、表象文化論、文明論等々、異分野の人間諸科学の成果と接続した現代人間学としての哲学となっている点である。総合学としての哲学の特徴を打ちだしながら、人間の「心」とは何かについてアプローチしていく。</p> <p>しかし「心」とは何だろうか。人間の「心」の構造を立体的に捉えるためには、私たちが現代日本の日常において当たり前だと思っている「心」についての信念を揺るがしてやることから始める必要がある。たいていの人は自分の心は「普通」だと思っている。しかしそう思っているうちは自分の「心」も本当にはわからない。「普通」とは何であるかは、「異常」とされるものとの対比においてしかわからないからである。みな同じだと思っていた「心」が、実は同じではないと知ることが、自分の「心」に入っていく第一歩なのである。</p> <p>そのためには現代の心理学や精神病理学、発生</p>

	<p>生物学、脳科学などの成果も踏まえながら、私たちの「心」の構造について考えていくことも必要となる。この授業では特に後半、近年において社会的にも話題になることの多い「自閉症」についての学際的な取り組みを紹介しながら、「心」の世界へのアプローチを体験していく。「普通」が立体的な構造として見えてくるようになってきたとき、実はそれも一つの「特殊」にすぎないことが見えてくるはずだ。全15回の授業で、その入り口まで学生諸君を連れて行きたい。</p> <p>前半は、表象文化を通して「世界」や「人間」についての哲学的な問いの世界に入っていく。ミニレポートの作成を通して自分なりに問いを表現し論じることを学ぶ。後半は、学際的な自閉症研究の世界に触れ、文系、理系双方の諸学問からの「心」へのアプローチの姿を知り、さまざまな研究方法についての理解を深める。</p>
<p>学習目標／Learning Goals</p>	<p>①人間の「心」の世界についての問いを自分なりに立て、議論をすることができる。</p> <p>②さまざまな学問分野からの「心」の世界へのアプローチの仕方を説明することができる。</p>
<p>履修条件・受講条件／Requirement / Prerequisite</p>	
<p>授業計画／Class Plan</p>	<p>第1回 イン트로ダクション  第2回 「意味と無意味」（『マンガは哲学する』第一章より）  第3回 「人生の意味について」「われわれは何のために存在しているのか」（『マンガは哲学する』第六・七章より）  第4回 「生命」とは何か（生命倫理学から）  第5回 「哲学」とは何か（「弁証法」について）、ミニレポート作成  第6回 ミニレポート応答  第7回 自閉症と心の世界①（『自閉症学のすすめ』心理学の章）  第8回 自閉症と心の世界②（『自閉症学のすすめ』精神病理学／精神分析の章）  第9回 自閉症と心の世界③（『自閉症学のすすめ』文化人類学の章）  第10回 自閉症と心の世界④（『自閉症学のすすめ』社会学の章）  第11回 自閉症と心の世界⑤（『自閉症学のすすめ』法律の章）  第12回 自閉症と心の世界⑥（『自閉症学のすすめ』文学の章）  第13回 自閉症と心の世界⑦（『自閉症学のすすめ』発生生物学の章）  第14回 自閉症と心の世界⑧（『自閉症学のすすめ』認知科学の章）  第15回 自閉症と心の世界⑨（『自閉症学のすすめ』哲学の章）</p>
<p>授業外における学習／Independent Study Outside of Class</p>	<p>受講生は授業開始前に指定の教科書2冊（下記）を入手すること。かならず授業前に該当範囲を読み、予習してくる。予習範囲は授業内で指定する。</p>
<p>教科書・教材／Textbooks</p>	<p>1. 永井均『マンガは哲学する』岩波現代文庫、994円  2. 高瀬堅吉・野尻英一・松本卓也編『自閉症学のすすめ——オーティズム・スタディーズの時代』ミネルヴァ書房、2000円</p>
<p>参考文献／Reference</p>	

成績評価/Grading Policy	5回目の授業後に提出する「ミニレポート」と学期末に提出する「期末レポート」により評価する。ミニレポート20%、期末レポート80%
コメント/Other Remarks	※初回授業で授業の組み立てとレポートの書き方について説明するので、かならず出席すること。
特記事項/Special Note	本講義は、基本的にプロジェクタ画面に投影したスライドと配布資料（プリント）をもとに授業を進める。配布資料については、CLE上でファイルを提供する場合がある。2回のレポート提出は、CLE上で行なう。
受講生へのメッセージ/Messages to Prospective Students	人間の「心」の世界に興味のある学生におすすめ。授業前半で「ミニレポート」の作成と教員からの応答を通して、文章の書き方を学ぶ。哲学を中心に、後半は文系・理系さまざまな学問分野からの「心」へのアプローチを学べるところが特徴。出席は取らないが、熱心に出席して課題に取り組まないと単位は取れない授業なので、そのことを承知して履修登録すること。
実務経験のある教員による授業科目/*	

## 授業担当教員

教員氏名/Instructor Name	所属・職名・講座名/Affiliation, Title, Course	e-mail/E-mail
データがありません		

## 学生への注意書き